

●支部だより

あかしや通信

2023.3 No. 41



北陸支部通常総会

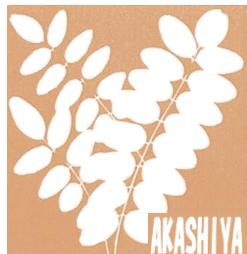
除雪機械安全施工技術講習会

道路除雪施工の手引(一部改定)

一般社団法人 日本建設機械施工協会北陸支部



昭和40年代に活躍した除雪グレーダ(3.7m)



●支部だより

あかしや通信

2023.3 No. 41

目次/Contents

支部長あいさつ	1
1. 北陸支部通常総会	2
2. 建設技術報告会	5
3. 除雪機械展示・実演会	6
4. ニイガタ除雪の達人選手権2022	8
5. I C T 活用講習会（実践者・入門者クラス）	10
6. ゆきみらい2023除雪機械安全施工技術講習会	12
7. 地方自治体等への除雪講習支援	14
8. 道路除雪施工の手引（一部改訂）	15
9. 歩道除雪機械安全施工マニュアル	16
10. 除雪機械オペレータに関する実態調査	17
11. 外国人技能評価試験	18
12. J C M A 親睦ゴルフ大会	19
13. 令和4年度支部行事一覧	20
14. お知らせ	26

■ 表紙写真／ニイガタ除雪の達人選手権のスラロームwithタイヤ競技状況

【支部長あいさつ】

北陸陸支部 支部長 丸山 輝彦
(長岡技術科学大学 名誉教授)



日本建設機械施工協会北陸支部の会員の皆様方には、日頃から建設分野の機械化、生産性向上にご支援、ご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

令和2年1月に国内初の新型コロナウイルス感染者の確認が発表されてから、3年が経過いたしました。昨年は「ゆきみらい 2022in 白山」の除雪機械展示・実演会を開催するため会員の皆さんや担当者で準備を押し進めましたが、コロナ第6波の影響で開催ができなくなりました。あれから約1年、新たな感染者や亡くなる人の増加が続き、2022年秋から続く第8波では第7波を更に上回る規模で感染が拡大していて、収束の見通しが立たない中、コロナ感染者拡大防止と社会経済活動の両立をどう図るかが課題となっています。

このような中で、北陸支部通常総会においては、過去2年間は小規模開催となりましたが、令和4年度は運営委員会での意見を基に通常開催を行いました。しかしながら、健康と安全を配慮し懇談会は中止としましたので、令和5年の総会は是非、通常開催と皆様の情報収集が可能な懇談会が開催できることを期待しております。

さて、近々の課題として、人口減少・少子高齢化、気候変動への対応など、建設業を取り巻く現状を踏まえると、担い手確保に向けた働き方改革は待ったなしの喫緊の課題であります。その中で道路除雪に伴う除雪オペレータの高齢化や将来的な除雪体制の確保のためには、必要なことを実施しなければならず、昨年度から新潟県土木部で開催している「担い手協議会」や「ニイガタ除雪の達人選手権」などは有効な手段と考えます。

また、近年では建設業の生産性向上を図るために様々なA I導入が進められ、令和5年には建設分野のDX（デジタル・トランスフォーメーション）による変革を一層加速させる「躍進の年」として取り組まれると計画されております。よって、社会資本や公共サービスを変革すると共に、業務組織、プロセスなど働き方そのものの変革が求められ、協会としてもお手伝いしなければいけないものと考えております。

最後となりますが、新型コロナウイルス感染防止に留意しつつ、事業を着実に遂行するため会員皆様方のご指導、ご協力を引きつづきお願い申し上げます。

北陸支部通常総会



第11回 通常総会

総 会

令和2年の4月に発令された新型コロナウイルス感染症の緊急事態宣言が発令され、令和2~3年度の2年間の支部総会は小規模開催となりました。また、令和4年1月にはオミクロン株による第6波が拡大し、全国の都道府県においては、まん延防止等重点措置がとられましたが、企画部会委員から対面会議の実施要望を受け、運営委員会の承認を得て令和4年5月19日に新潟東映ホテルにて通常開催を行いました。なお、総会後に実施している懇談会は中止としました。

総会は議決権総数127社のうち出席議決権数104社（うち委任状60社）が出席、上杉総務委員長の司会で進められ、丸山支部長の挨拶の後に書記の任命、総会成立宣言、議事録署名人の選出を行い、議事が進められました。

議事は、第1号議案の「令和3年度事業報告」に関する件、第2号議案の「令和3年度決算報告」に関する件について上程し、異議なく承認されました。

続きまして、第3号議案の「令和4~5年度役員に関する件」を上程し、役員名簿（案）の20人体制で諮ったところ異議なく承認されました。支部長は引き続き長岡技術科学大学名誉教授の丸山輝彦様、副支部長も引き続き新潟トランシス（株）の和田学様と（株）興和代表取締役社長の池野正志様が再任されました。

続いて、第4号議案の「令和4年度事業計画」に関する件、第5号議案の「令和4年度収支予算」に関する件については、3月22日に第40回本部理事会で決議された旨を報告し、異議なく報告がなされました。

北陸支部運営委員会名簿

支 部 長	丸山 晖彦 長岡技術科学大学 名誉教授	池野 正志 株興和 代表取締役社長
副 支 部 長	和田 学 新潟トランシス（株）取締役	坂本 勝則 日本キャタピラー（同）建機事業本部 北越地区営業本部長
運 営 委 員	植木 義明 株植木組 取締役社長	堀 吉伸 日本道路（株）執行役員北信越支店長
	遠藤 聰一 遠藤鋼機（株）代表取締役	佐藤 友則 日立建機日本（株）新潟支店長
	市村 稔 株加賀田組 代表取締役社長	野口健太郎 株日の出自動車 代表取締役
	北川 隆明 北川ヒューテック（株）代表取締役社長	山田 和司 福田道路（株）執行役員新潟本店長
	横山 慶一 コベルコ建機日本（株）上信越支社長	田野 克裕 北越工業（株）執行役員生産調達部長
	川崎 幸司 コマツカスタマーサポート（株）東京関越カンパニー新潟事業部長	近藤 淳 （一社）北陸地域づくり協会 理事長
	田村 秀弘 大成ロテック（株）執行役員北信越支社長	真柄 卓司 真柄建設（株）代表取締役社長
	河西 誠 東亜道路工業（株）執行役員北陸支店長	
	日高 真吾 株NIPPO 執行役員北信越支店長	



丸山支部長挨拶



通常開催による総会状況

永年会員表彰、優良建設機械運転員・整備員表彰

● 永年会員表彰

通年、永年会員表彰、優良建設機械運転員・整備員表彰は通常総会時に合わせて実施しており、令和2年については新型コロナウィルス感染症から表彰式は実施しませんでしたが、令和4年度は令和3年度と同様、通常どおり総会後に実施しました。永年役員表彰では1名が表彰され、永年会員表彰は会員期間50年が1社、会員期間40年が23社表彰されました。更には会員各社から推薦された優良建設機械運転員4名、整備員3名様に表彰状と記念品が授与されました。

北陸支部団体会員	会 社 名	
会員期間50年	岩崎工業(株)	—
会員期間40年	(株)荏原製作所 北陸支社	(株)文明屋
	(株)電業社機械製作所 関東支店	町田建設(株)
	藤木鉄工(株)	(株)松井組
	川田建設(株) 北陸支店	松本建設(株)
	(株)興和	(株)森下組
	小杉土建工業(株)	(株)大島自動車整備工場
	沢田工業(株)	(株)岡村自動車
	(株)種村建設	(株)テッコ横山
	(株)中元組	(株)豊商
	長岡舗道(株)	日立建機日本(株)新潟支店
	西田建設(株)	北陸自動車(株)
	(株)笛田組	—
会員期間30年	対象企業なし	—
会員期間20年	対象企業なし	—

● 永年役員表彰(7年以上)

氏 名	会社名・役員名
北川 隆明	北川ヒューテック(株) 代表取締役



● 優良建設機械運転員・整備員

種 別	氏 名	所 属
運 転 員	安 田 武 司	(株)笠原建設
〃	松 本 孝 司	丸運建設(株)
〃	大 橋 正 次	道路技術サービス(株)
〃	瀬 戸 敦 司	(株)金沢舗道
計	4名	
整 備 員	岡 村 勇 二	コベルコ建機日本(株)
〃	小 池 正 人	(株)日の出自動車
〃	野 村 守	千代田機電(株)
計	3名	



支部長からの表彰及び記念撮影

特別講演

表彰式の終了後には特別講演として、北陸地方整備局企画部長 池田 裕二様から「北陸地方整備局における施策について」と題して、ご講演を頂きました。

講演内容は下記に示す内容にてご講演され、協会員の関連企業におかれましては、真剣な表情にて聴講されておりました。



北陸地方整備局池田企画部長講演状況

■講演概要

I. 国土交通省および北陸地方整備局の予算概要
防災・減災、国土強靭化のための5ヵ年加速化対策概要 北陸圏広域地方計画と社会資本整備重点計画
II. 地域づくり
1. 安全で安心な地域づくり ・管内の流域治水プロジェクト ・信濃川水系緊急治水対策プロジェクト ・信濃川(大河津分水路)令和の大改修
2. 活力、成長力のある地域づくり ・国道8号 栄拡幅 ・国道8号 柏崎バイパス ・国道49号 水原バイパス ・国道7号 沼垂道路・栗ノ木道路・紫竹山道路 ・国道470号 輪島道路(Ⅰ期・Ⅱ期)
3. 魅力あるまちづくり・豊かな地域づくり ・新潟駅付近連続立体交差事業 ・国道8号道の駅「KOKOくろべ」

III. 災害対策
・北陸地方整備局の防災体制
・近年の主な自然災害
・TEC-FORCEの活動内容
・北陸地方防災エキスパートの支援・連携
・災害への備え(北陸防災連絡会議)
IV. 社会資本の老朽化対策
・道路橋で急速に進行する高齢化
V. 建設業における担い手確保に向けた働き方改革
VI. インフラ分野のDXの推進
VII. 貸上げ加点措置

懇談会

通年、総会表彰式および特別講演の終了時には、懇談会が実施されますが、新型コロナウイルス感染症防止のため、皆様やその関係者の健康と安全を考慮し、中止とさせて頂きました。



建設技術報告会

建設技術報告会の開催概要

北陸地方における建設事業の円滑な推進を図るために、官公庁及び民間の建設会社において、新たに研究開発された新技術・新工法等を報告することにより、研究開発技術の普及を図ることを目的に開催されたものです。

今回は昨年度と同様にオンデマンド配信（Webビデオ放映）とされ、令和5年1月18日～1月31日までの14日間とされました。昨年度は10日間でありましたが、意見を反映し終日視聴可能となり、視聴日も長くなりました。

報告会の聴講募集期間前に応募定員1,000名を達成し、昨年度より約2割聴講者が増えており、関心があるものと推定されます。

報告技術は発表課題と掲載課題と合わせて24題となり、①i-Constructionによる生産性向上、インフラ分野のDXが8題と最も多く、②社会資本の的確な維持管理・更新が5題、③雪に強い地域づくり6題、④自然災害からの安全確保0題、⑤環境保全と創造3題、⑥その他2題となりました。

当協会の会員からの発表は、(株)植木組1題、東亜道路工業(株)2題、北川ヒューテック(株)2題、(株)ガイアート1題、(株)グランテック1題、(株)興和1題で計8題の発表がありました。

令和4年度 建設分野の新技術・新工法の報告会

建設技術 報告会

開催期間

令和5年

1月18日～31日

オンデマンド配信

報告技術 募集

申し込み期限

6月15日（水）～

令和4年 7月15日（金）



募集テーマ

- ① i-Constructionによる生産性向上、
インフラ分野のDX
- ② 社会資本の的確な維持管理・更新
- ③ 雪に強い地域づくり
- ④ 自然災害からの安全確保
- ⑤ 環境の保全と創造

主催 北陸地方建設事業推進協議会

令和4年度「建設技術報告会」実行委員会

北陸地方整備局 新潟県、富山県、石川県、新潟市

東日本高速道路(株)新潟支社、中日本高速道路(株)金沢支社

(一社)日本建築業連合会北陸支部、(一社)日本道路建設業協会北陸支部

(一社)日本建築改修業協会北陸支部、(一社)建設コンサルタンツ協会北陸支部、(一社)日本建設機械施工協会北陸支部

(一社)北陸土木コンクリート製品技術協議会

(一社)プレストレスト・コンクリート建設業協会北陸支部

北陸PC防音技術協議会、(一社)新潟県融雪技術協議会

(一財)新潟県建設技術研究センター、(一社)新潟県地質調査業協会

(一社)日本橋梁技術協会北陸支部、(一社)北陸地域づくり協会

(一社)日本橋梁建設協会北陸事務所

報告技術申込 <https://www.hrr.mlit.go.jp/hokugi/mijika/tecbox/936/>
上記ホームページより「報告技術申込書」をダウンロードできます。

問い合わせ先
北陸地方建設事業推進協議会 令和4年度「建設技術報告会」実行委員会

(国土交通省 北陸地方整備局 北陸技術事務所)
担当: 技術情報管理官(新技術)、施工調査・技術活用課 技術活用係

〒950-1101 新潟市西区山田2310番地5

TEL: 025-231-8036 E-MAIL: houkokuai-hokugi@hrr.mlit.go.jp

No.	テーマ	報告論文	発表会社名	支部会員
1	①	ダムコンクリート運搬設備(SC プレミアムベルコン)の開発	清水建設(株)	
2	①	道路除雪における除雪車運行管理システムの導入について	新潟市	
3	①	トンネル覆工コンクリートの自動打設システムの開発	鹿島建設(株)	
4	①	トンネル坑内自動巡回ドローン	株フジタ	
5	①	ケーンソノ据付時のICT施工について	北陸地方整備局 敦賀港湾事務所	
6	①	消波ブロックを対象としたUAV測量	五洋建設(株)	
7	①	消波ブロックのリアルタイム据付シミュレーション	株不動テトラ	
8	①	5Gを用いた遠隔操縦システムの構築	株大林組	
9	②	プレキャスト床版接合技術「Head-barジョイント」	大成建設(株)	
10	②	道路橋RC床版の高耐久補修工法T-Sus Layerの開発	大成建設(株)	
11	②	他分野で取得したデータの(利)活用による舗装修繕工事の適用検討	株植木組	○
12	②	防水性能を有した橋面アスファルト舗装の開発	東亜道路工業(株)	○
13	②	塩分吸着型複合防水工法の開発	東亜道路工業(株)	○
14	③	ICT活用により作業装置を自動化した除雪トラックの試行運用について	北陸地方整備局 北陸技術事務所	
15	③	積雪寒冷地の路面破損状況に着目した全天候型常温合材の開発	北川ヒューテック(株)	○
16	③	FFP(フル・ファンクション・ペーブ)舗装の凍結抑制効果	株ガイアート	○
17	③	放熱管方式無散水融雪設備の開発	株グランテック	○
18	③	3D測量を活用した融雪配管埋設型プレキャストRC舗装版施工	株興和	○
19	③	冬期融雪対策への通電発熱塗料を用いたシートヒーターの適用	佐藤工業(株)	
20	⑤	廃プラスチック材を活用した舗装材の開発	北川ヒューテック(株)	○
21	⑤	作業船へのGTL燃料の導入について	若築建設(株)	
22	⑤	景観や環境の影響を最小限に抑えた遠隔自動浚渫技術「水底土砂ポンプ浚渫工法」	あおみ建設(株)	
23	⑥	車両前方画像を活用したAIによる交通事故危険事象検知システム	前田建設工業(株)	
24	⑥	建設業の働き方改革の推進について～いしかわ週休2日工事・ICTの活用等～	石川県	

ゆきみらい2023除雪機械展示・実演会



ゆきみらい2023in会津の開催概要

日本の豪雪地帯は、24道府県の532市町村にわたり、国土面積の51%を占め、総人口の約51%が居住しています。雪国においては、雪を克服するための道路の除排雪、消雪施設や流雪溝の整備などが行われ、地域づくりに雪国の豊かな自然を活かしたり利用したりする試みが行われています。

「ゆきみらい」は国・地方公共団体・企業・NPO・市民団体等から、克雪・利雪技術の課題や研究、雪に強い街づくり、雪国の自然環境・歴史・文化の継承など、ハード・ソフト両面に渡る様々な取組に対する意見交換や情報交換を通じて、雪国の未来を展望し、更に全国へ雪国情報発信を通じて、雪国の未来を展望し、更に全国への情報発信を行うことにより、地域の活性化を図ることを目的として、北海道、東北、北陸でリレー開催としており、開催地の県・市と共同で実施しています。

今年度は、会津若松市で「ゆきみらい2023in会津」として開催され、会津若松市では3回目の16年ぶりとなりました。開催テーマとして「スマートティ会津若松で雪国の未来を考える」としていました。

ゆきみらいの前身は、昭和37年度に山形県新庄市で開催された除雪機械展示および実演会であり、昭和60年度からはこれまで個別開催していたシンポジウム、研究発表会、見本市、除雪機械展示・実演会の4つのイベントを同時開催することとし、今回で37回目、東北地方での開催は13回目となります。

「除雪機械展示・実演会」は当協会が運営しているもので、鶴ヶ城東口駐車場で10企業の最先端技術が展示され、3企業の実演が行われました。出展各社とも最新技術を搭載した除雪機械を出展しており、より除雪の効率化を図っています。

「ゆきみらいシンポジウム」は、会津風雅堂でアクセントチャイナ（株）イノベーションセンター福島の“海老原條一”氏による特別講演「会津若松市におけるスマートシティの取り組み～三方良しのまちづくり～」と、「スマートシティが実現する未来の暮らしとこれから的地方創生に向けた方策」と題してパネルディスカッションが行われました。

「ゆきみらい見本市」は、鶴ヶ城体育館で47企業により雪国における除雪技術やＩＣＴなどのデジタル技術を活用した製品が紹介されました。出展各社とも最新技術を搭載した機械等を出展しており、より除雪の効率化を図る技術開発が進められています。

「ゆきみらい研究発表会」は、会津若松文化センターで、冬期に生じる災害対応5テーマ、冬期道路管理のICTと担い手の20テーマ、地域性を活かした観光・産業振興・地域づくりの5テーマが発表されました。



除雪機械展示・実演会（展示ブース配置状況）



1	株式会社 NICHINO
2	西尾レントオール株式会社
3	新潟トランシス株式会社
4	岩崎工業株式会社
5	UDトラックス株式会社
6	メルコモビリティーソリューションズ株式会社
7	株式会社 タイショウ
8	名古屋電機工業株式会社
9	範多機械株式会社
10	国土交通省 東北地方整備局 東北技術事務所
11	JCMA事務局 事務所棟
12	JCMA事務局 休憩所棟

北陸支部会員の出展者状況



1 NICHINO

【出典内容】ロータリ除雪車HTR308A、凍結抑制剤散布車NWS25SS5、非常用電源装置を搭載した新開発のプラグインハイブリッドロータリ除雪車「HTR145PHV」ロータリ除雪車操縦シミュレータ



3 新潟トランシス

【出典内容】ロータリ除雪車NTR403型（最終4次排出ガス規制に対応し環境にも配慮したエンジンを搭載）、ブース内で製品紹介の動画などを用意



4 岩崎工業

【出典内容】10t級6×6除雪トラック、スノープラウをワンタッチで微上昇させて道路の段差を回避することができる道路段差回避システム、3Dサラウンドマルチビュー、除雪トラック制御装置



9 範多機械

【出典内容】ベルトコンベヤを採用し確実で安定した搬送量を実現した散布車MS-25BIT(D)、ホッパ内凍結防止剤の詰まりを解消するバイブレータ機能を搭載した散布機MS-03HV

ニイガタ除雪の達人選手権2022



除雪の達人選手権の開催概要

近年、除雪オペレータの高齢化や若い世代の入職者数減少により、将来的な除雪体制の維持が課題となっています。

将来の安定した冬期道路交通確保の体制を維持するため、各種道路管理者が連携し、除雪の達人選手権を開催することで、道路除雪オペレータの技術向上及びモチベーション向上などの人材育成の目的や、若い世代へ除雪に興味をもってもらうことで、将来の担い手確保に向けた人材確保への成果を期待するため、第3回「除雪の達人選手権2022」を十日町にて令和4年10月22日に開催しました。

達人選手権は実行委員形式にて進められ、新潟県土木部管理課長を委員長として、8委員（北陸地方整備局、十日町市、津南町、東日本高速道路㈱新潟支社、日本道路建設業協会北陸支部、日本建設機械施工協会北陸支部、新潟県建設業協会十日町支部、新潟県十日町地域振興局地域整備部）にて実行されました。

当協会北陸支部は前回に引き続き、競技の運営管理として競技解説者（堤事務局長、本間普及部会長）を担当しました。開催は多くの子供たちの来場を見越して土曜日とし、選手権以外の多くのイベントを行ったため、家族連れが多く総勢643名（大人366人、子供277人）の参加がありました。



競技コースおよび会場イベント内容

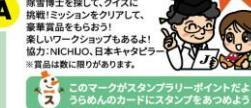
A みんなで挑戦！スタンブラー

雪降り博士と一緒に、クイズに挑戦！ミッションをクリアして、豪華賞品をもらおう！

楽しいワーキング篷もあらるよ！

協力：NIICHUO、日本キャタピラー

※賞品は数量限りあります。



B はたらくくるま大集合！

はたらくくるまに乗ってみよう！

除雪車で雪作りしたり、動く除雪車に乗ってぐるぐるのコース周辺も体験できます。



C すごいぞ！除雪車パフォーマンス

除雪車で雪字に挑戦！！

何を書くかは見ての通り、運力満点、スーパー操作力の技を間近で見てね！



D キッズセンターがやってくる！

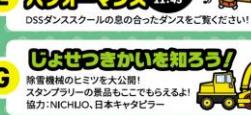
キッズセンターが大集合！

カレー、クリープ、たこやきなど、盛りだごまでお待ちしています。



E 名必見！ダンスパフォーマンス

DSSダンススクールの息の合ったダンスをご覧ください！



G じよせつづかいを知ろう！

除雪機械のヒミツを大公開！

スタンブラーの情報もここでもらえるよ！

協力：NIICHUO、日本キャタピラー



競技概要および採点方法

競技項目	競技概要	採点方法	実作業における想定
①スラロームwithタイヤ	S字コースをタイヤを運びながら前進で走行し、走行タイムを競うものです。なお、アングリングブラウに設置されたサイドシャッターは使用しない。	安全確認、パイロン・ポールに接触及びタイヤ逃しは減点し、タイム計測	雪を置き場へ押し出す作業を想定
②バック走行クランク	幅員の狭いコースをバックで通行し、接触なく走行しつつタイムを競うものです。	安全確認、コースに設置したコーンの接触回数にて減点し、タイム計測	狭い交差点内や市街地道路での切替しを想定
③障害物幅寄せ	コース内で自立した3箇所に設置された円筒棒4本を各々内側の2本のみを倒し、走行を競うものです。	安全確認、3箇所の円筒棒で内側の2本を倒すもので、2本未満及び3本以上は減点	道路幅ギリギリまでの除雪作業を想定
④ギリギリケーキ落とし	路面および台上の設置された1枚2cmのケーキ10枚をブレードで除去し、残雪の低さを競うものです。	安全確認、ケーキ残枚数に応じた減点評価	雪押し作業時のガードレール等の凹凸を想定した除雪を想定
⑤車庫入れ	車庫の後ろの位置まで距離の近さを競うものです。	安全確認、機械中央後端から壁までの距離をに応じた減点方法、タイム計測	狭い場所での車両感覚

競技結果および競技状況

競技は除雪ドーザ機種による「スラロームwithタイヤ」、「バック走行クランク」、「障害物幅寄せ」、「ギリギリケーキ落とし」、「車庫入れ」の5種目の競技で、迅速さ、正確さなどで争ったものです。

競技参加者は別表に示すとおり、1チーム3人の5チームで競われ、団体部門では津南町除雪隊が優勝されました。また、個人部門では1位が塩沢工区チームの“高村孝様”、2位は津南町除雪隊の“大口善広様”、3位は新潟県建設業協会十日町支部の“中沢謙太様”が表彰されました。

■競技参加者

	チーム名	除雪地区	参加者	団体順位
1	塩沢工区チーム笛田組	北陸地方整備局	3名	4位
2	関越道マナーティズ2nd	NEXCO	3名	5位
3	津南町除雪隊	津南町	3名	1位
4	仲里JV・チームSOS	十日町市	3名	2位
5	新潟県建設業協会十日町支部	新潟県	3名	3位



除雪ドーザによる競技状況(①スラロームwithタイヤ)

競技解説状況(JCMA本間普及部会長)



③障害物幅寄せ競技



④ギリギリケーキ落とし競技



⑤車庫入れ競技

ICT活用講習会(実践者・入門者クラス)



ICT活用講習会の開催概要

i-Constructionにおける「ICT技術の全面的な活用」の推進について通達され、北陸地域へのICT導入・普及・拡大を継続的に推進するため、北陸ICT戦略推進委員会で定めた令和4年度「I

CT普及・拡大講習会・研修ロードマップ」及び「ICT普及・拡大計画工程表」に基づき、入門者クラス及び実践者クラスの講習会開催において、JCMA北陸支部は全面的に協力を行いました。

実践者クラス講習会

実践者クラスの講習会は、新たに基準類が制定された「ICT床固工」、「ICT小規模土工」から、それに見合った内容で北陸技術事務所富山出張所にて令和4年11月29日～30日の2日間の午前および午後の4班に分けて座学および実技講習を実施したものでした。なお、申込者数は56人で参加者は52人でした。

昨年度末の委員会及び研究会において、現場施工技術の紹介で小規模現場に採用されている「モバイル端末を用いた出来高計測技術の紹介」があり、

ぜひ講習会で披露すべきとの意見があったことから、講習会に組込まれました。講習会参加者からは、「ソフト関連上、多少金額が嵩むと思われるが、現場出来高において簡易に算出できるため是非採用したい。」との声が上がりました。

2DMGミニバックホウ(0.25m³級)及び3DMCバックホウ(0.45m³級)の実技においては、特に3DMCを現場にて使用することで出来形に問題なく施工ができるとの声が多く聞かれました。

■実践者クラスの開催日時及び参加者

実施箇所	申込み班体制	開催日時	申込者数	参加人数	欠席者数
北陸技術事務所 富山出張所構内 (富山防災センター)	1班	令和4年11月29日(火) 9:00～12:00	17人	17人	0人
	2班	令和4年11月29日(火) 13:30～16:30	16人	16人	0人
	3班	令和4年11月30日(水) 9:00～12:00	7人	7人	0人
	4班	令和4年11月30日(水) 13:30～16:30	16人	12人	4人
		計	56人	52人	4人

■実践者クラス講習会のプログラム

講義内容	講義時間	担当講師
1. 開催挨拶	5分	北陸地方整備局企画部施工企画課
2. 【講義】ICT活用の概要	20分	企画部施工企画課 阿部課長補佐
3. 【講義】令和4年度「3次元計測技術を用いた出来形管理要領」の改訂(小規模土工)について	20分	日本測量機器工業会
4. 【実技】①2DMGミニバックホウによる操作演習 ②3DMCバックホウによる操作講習	60分	日本建設機械施工協会北陸支部会員 千代田機電(株)ICT推進チーム
5. 【実技】小規模土工における3次元起工測量 ・出来形計測技術、モバイル端末を用いた出来形計測技術の紹介	40分	日本測量機器工業会
5. アンケート記入、CPDS受講証明書の交付	30分	北陸地方整備局企画部施工企画課



入門者クラス講習会

入門者クラスの講習会は、ICT活用の経験が無い初級者を対象に実施したもので、新型コロナウイルス感染症の防止対策として「Web会議」開催しました。

開催は当初令和4年12月20日開催予定でしたが、新潟県内の大雪の影響から受講することが困難な方が多数発生すると予想されたため、急遽延期となりました。なお、延期された講習会は、再度講習会参加者を募って、3月10日に開催しました。

参加者はZoom参加者レポートから回線接続を割り出し551名となりました。

講義内容は、昨年度と同様「ICT活用工事の流れ」はJCMA情報施工委員会メンバーであるリーグルジャパン(株)の橋本氏、「ICTを活用した測量業務等の概要」については(株)国土開発センターの徳田氏及び東氏らが講義を実施しました。また、自治体からの情報提供として、富山県県土木部の道前様と石川県土木部の麦谷様からの講義を実施しました。講習会はWeb形式による講習であり、大勢の参加者が予想されたため申込みはGoogleフォームで様式を作成し、講習会申込みリストを自動集計しました。

■入門者クラス講習会のプログラム

講義内容	講師所属	講師	講師Web箇所
開会挨拶	北陸地方整備局	企画部施工企画課 阿部課長補佐	北陸地方整備局 4F企画部打合せ室
ICT活用工事の流れ	日本建設機械施工協会	リーグルジャパン(株) シニアプロダクトマネジャー 橋本 靖彦	未定
ICTを活用した測量業務等の概要	石川県測量設計業協会	(株)国土開発センター 徳田 義孝、東 龍生	(株)国土開発センター 石川県白山市八東穂3-7
自治体からの情報提供	富山県建設技術企画課	建前 昭徳 主任	富山県 会議室 富山市新総曲輪1番7号
	石川県土木部監理課	技術管理室 麦谷 優太 主任技師	石川県 会議室 石川県金沢市鞍月1丁目1番地



実践者クラスの座学状況



実践者クラス 3DMC操作講習



実践者クラス 2DMG操作講習



入門者クラス Web講習会



入門者クラス 回線接続状況



入門者クラス スクリーンショット(一例)

除雪機械安全施工技術講習会



除雪講習会の開催概要

本除雪講習会は、降雪期における道路除雪作業に使用する除雪機械を運転するにあたって、道路における危険を防止し、安全及び効率的な施工を習得していくことを目的に開催しているものです。

この講習会は、昭和56年に除雪機械安全点検整備講習会としてスタートし、昭和61年から除雪機械管理施工技術講習会としているもので、令和2年度から、アンケートの実態及び安全管理の重要性等を踏まえ、「除雪機械安全施工技術講習会」として開催しております。なお、受講者が県道・市町村道の除雪従事者の占める割合が多くなってきたことを踏まえ、令和3年度に当協会北陸支部の雪氷部会で改訂

したテキストを更にわかり易く、且つ、「除雪機械による立ち往生車両のけん引」を部分改訂して使用しました。

令和4年度の講習会の開催場所は、新型コロナウイルス感染症の防止を考え基本的に令和3年度と同様となります。令和元年度から開催している「能登会場」において、普及部会にて受講者数から隔年開催の決定を受け、1箇所少ない7箇所9回（新潟県内6回、富山県内2回、石川県内1回）の開催を行いました。

なお、講習会の受講者の希望者に応じて、(一社)全国土木施工管理技士会連合会の継続学習制度（C P D S）の発行（ユニット数5）を行いました。

講習会開催日および講習会プログラム

会場名	開催日	会場	受講者数
魚沼会場	10月5日(水)	魚沼市地域振興センター	210名
長岡会場	10月11日(火)	ハイブ長岡	166名
新潟会場(1)	10月12日(水)	新潟テルサ	96名
上越会場	10月13日(木)	上越商工会議所	116名
村上会場	10月18日(火)	村上市民ふれあいセンター	63名
金沢会場	10月24日(月)	石川県地場産業振興センター	96名
能登会場		開催なし（隔年開催）	
富山会場(1)	10月25日(火)	富山産業展示会	105名
富山会場(2)	10月26日(水)	富山産業展示館	108名
新潟会場(2)	10月31日(月)	新潟テルサ	96名
合計			1056名

時間	科目	講師
9:30~	受付	
10:00~	開会	(一社)日本建設機械施工協会
10:00~10:30	除雪への取組について	国土交通省北陸地方整備局
10:30~11:15	除雪ドーザ及び除雪グレーダの点検・取扱上の留意点	除雪機械メーカー 技術担当者
11:15~12:00	ローリー除雪車及び凍結防止剤散布車の点検・取扱上の留意点	除雪機械メーカー 技術担当者
13:00~14:30	道路除雪計画及び除雪施工法の留意点	除雪施工 技術担当者 等
14:30~16:00	除雪作業における安全管理他について	除雪施工 技術担当者 等
16:00~	受講証の交付、閉講	(一社)日本建設機械施工協会

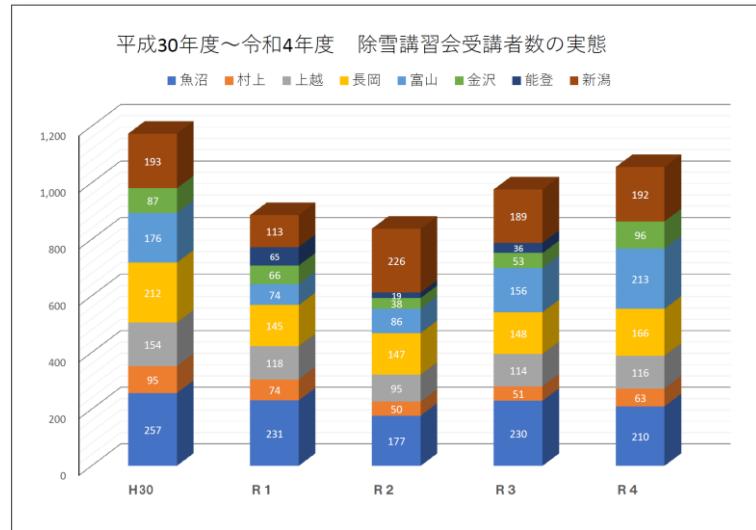


過去5力年の除雪講習会受講者数の推移

平成30年度から令和4年度の5力年による除雪講習会受講者は、平成30年度は1,174名と多くの受講者があり、その後、受講者が減少しましたが、今年度は1,000人を超える受講者となりました。

この理由として、令和2年度と令和3年度において、富山県及び石川県内の市街地の冬期降雪が多く、オペレータの参加困難等が発生したためと思われます。

除雪講習会の改善点として、魚沼会場が200人以上の受講者数から、受付事務及び座席等の設置から講習会の開始時間が遅れたこと、また、上越会場において定員割れが発生している点から考え、令和5年度の講習会開催においては開催日数を増やす等の見直しが必要であることがわかりました。



除雪講習会の受講者年齢の実態

除雪機械のオペレータの高齢化や若手オペレータの確保などの課題が顕著化していることから、除雪講習会の受講者年齢について、令和2～4年度の3力年の年齢構成を調査した結果、下記の結果が把握できました。

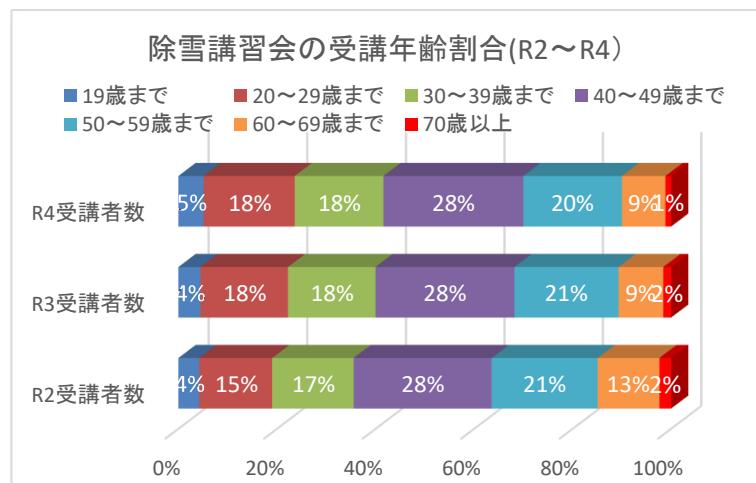
- ① 除雪機械オペレータは40代が最も多い。
- ② 30代、40代、50代、60代のオペレータ割合は全体の66～67%と変化がない。
- ③ 30歳までのオペレータ割合は3～4 %増えている。

除雪講習会の受講年齢は、全てのオペレータの年齢構成でないことから、はっきりしたことは言えませんが、40歳までの年齢構成は全体の約40%を占めています。除雪オペレータの実態は今年度調査を行ったため、次年度に報告する予定です。



長岡会場の講習状況

年齢	令和2年度		令和3年度		令和4年度	
	R2受講者数	割合	R3受講者数	割合	R4受講者数	割合
19歳まで	32人	4%	42人	4%	53人	5%
20～29歳まで	112人	15%	166人	18%	192人	18%
30～39歳まで	125人	17%	166人	18%	187人	18%
40～49歳まで	212人	28%	264人	28%	295人	28%
50～59歳まで	163人	21%	198人	21%	208人	20%
60～69歳まで	95人	13%	85人	9%	92人	9%
70歳以上	18人	2%	15人	2%	12人	1%
計	757人	100%	936人	100%	1039人	100%
アンケート回収率		98%		97%		99%



地方自治体等への除雪講習支援



除雪講習会の講師派遣

除雪作業に伴う講習会等において、国土交通省や地方公共団体等から要請を受け、毎年講師の派遣を実施しています。

今年度は昨年度と同様、新潟市土木部土木総務課からの「新潟市車道除雪オペレータ研修」、国土交通大学校からの「施工企画研修維持用建設機械（除雪機械）」、日本建設機械施工協会本部からは関東甲信地区における「道路除雪講習会」について、講師依頼を受け、派遣を実施しています。

なお、県外の除雪講習支援要請の場合は、新型コロナウイルス感染症の防止対策として、Web講習会にて行っています。

新潟市の「新潟市車道除雪オペレータ研修」では、当協会が実施している除雪機械安全施工技術講習会で使用している「道路除雪施工の手引」のテキストを使用し、あまり使用されていない除雪機械については割愛し説明を行っています。



講習会の説明資料の一部

62

実施日	依頼者	講習人員	講習場所等
令和4年10月25日（火）	JCMA本部	103名	関東甲信地区除雪講習会 Web講習会
令和4年11月11日（金）	国土交通大学校	約20名	オンライン講義 (新潟↔東京都小平市)
令和4年11月24日（木）	新潟市土木部 土木総務課	81名	新潟テルサ



新潟市車道除雪オペレータ研修講師状況(穂苅技師長)



新潟市車道除雪オペレータ研修状況

道路除雪施工の手引(一部改訂)



一部改訂概要

近年、暖冬消雪傾向となっている中、積雪地域のみならず非積雪地域でも大規模な立ち往生が発生しており、大規模な立ち往生は道路交通への影響だけでなく、社会活動までに影響を及ぼしており、その抑制に向けて道路管理者による対策が取られています。

立ち往生車両は発生させないことが重要ですが、近年の想定を超える短期間の集中降雪や現在の除雪体制等を踏まえると対応が困難な場合があります。

このため、立ち往生車両を発生させないこと以外に、発生した場合には如何に速やかに対処することが重要となります。

北陸地方整備局では、大雪の車両の立ち往生等に対応するため「災害対策基本法に基づく車両移動、交通確保の手順書（北陸版）」を作成しています。

J C M A 北陸支部では、道路における危険を防止し、交通安全と作業の円滑な推進を図るため、令和3年9月に「道路除雪施工の手引（除雪講習会テキスト）」の改訂を行いましたが、文章の分かりづらさ等から文章等の見直しを実施し、更に前文に記載した「立ち往生のけん引」として、除雪車のけん引能力は「車両重量」、「路面状況」、「タイヤチェーンの有無」、「けん引角度」などで変化するため、詳細にとりまとめたことから一部改訂を行いました。

除雪機械による被けん引車可能可否の計算根拠

(1)けん引力の算定式

$$\text{けん引力}(P) = \text{けん引能力}(F_s) - \text{走行抵抗}(F_m)$$

$$\cdot \text{けん引能力}(s) =$$

$$\text{重力加速度}(9.8) \times \text{すべり摩擦係数}(\mu) \times \text{駆動輪荷重}(R) \times \text{余裕率}(\eta)$$

$$\cdot \text{走行抵抗}(F_m) = \text{重力加速度}(9.8) \times (\text{ころがり抵抗}(R_r) + \text{勾配抵抗}(R_l))$$

$$\text{ころがり抵抗}(R_r) = \text{ころがり抵抗係数}(\mu_r) \times \text{車両総質量}(W)$$

$$\text{勾配抵抗}(R_l) = \text{勾配}(S) \times \text{車両総質量}(W)$$

(2)除雪機械のけん引能力

$$\text{すべり摩擦力}(F_s) = \mu (\text{すべり摩擦係数}) \times R (\text{駆動輪荷重}) \times \text{余裕率}$$

・計算値のけん引能力と実際のけん引能力では、除雪機械のメーカーの違い等で異なるため、計算値に対して余裕率（機械効率）を考慮する。

(3)すべり摩擦抵抗

スタッドレスタイヤの場合:0.3 チェーン装着の場合:0.4

・すべり摩擦抵抗値は「除雪機械技術ハンドブック」((社)日本建設機械化協会 平成19年12月)を参照する。

(4)ころがり抵抗

$$\text{ころがり抵抗}(R_r) = \text{ころがり抵抗係数} \mu_r \times \text{車両総質量}(W)$$

・ころがり抵抗係数は、「自動車工学(1975年10月 下田 茂著)」のゆるい圧接面の $\mu_r = 0.034 + 0.0026S$ で計算する。なお、雪量Sは10cmで設定した。

(5)勾配抵抗

$$\text{勾配抵抗}(R_l) = \text{車両総質量}(W) \times \tan \theta = W \times \text{道路勾配}(S)$$

・計算式で θ が大きくなれば $\sin \theta \approx \tan \theta$ となる。

■除雪機械による被けん引車可能の可否(参考)

種別	規格	チェーンの装着	けん引力 kN Fs-(Rr+Rl)	必要けん引力					
				セミトレーラ級		大型トラック(10t積)		中型トラック(4~5t積)	
				積載MAX 51.7 kN	空荷時 18.8 kN	積載MAX 29.4 kN	空荷時 9.4 kN	積載MAX 9.4 kN	空荷時 4.7 kN
除雪グレーダ	4.0m/4.3m級 (1人乗り)	総輪駆動	有	42.3	×	○	○	○	○
		後輪駆動	有	21.1	×	○	×	○	○
	4.3m級	後輪駆動	有	22.5	×	○	×	○	○
除雪トラック	7t級 (4×4)	総輪駆動	無	22.1	×	○	×	○	○
		総輪駆動	有	35.3	×	○	○	○	○
	10t級 (6×6)	総輪駆動	無	27.2	×	○	×	○	○
		総輪駆動	有	43.5	×	○	○	○	○
ロータリ除雪車	2.2m級	総輪駆動	有	29.4	×	○	×	○	○
	2.6m級	総輪駆動	有	39.2	×	○	○	○	○
除雪ドーザ	8t級	総輪駆動	有	14.0	×	×	×	○	○
	11t級	総輪駆動	有	20.0	×	○	×	○	○
	14t級	総輪駆動	有	25.0	×	○	×	○	○
	18t級	総輪駆動	有	33.0	×	○	○	○	○
	1.3m級	総輪駆動	有	11.4	×	×	×	○	○
小形除雪車	1.5m級	総輪駆動	有	14.7	×	×	×	○	○

*上記のけん引力は一次脱出用で、スリップ限界Fs(駆動輪荷重、すべり摩擦係数、余裕率)及び走行抵抗Fm(ころがり抵抗、勾配抵抗)を考慮して計算したもので、道路縦断勾配6%のものを示す。



歩道除雪機械安全施工マニュアル

安全施工マニュアルの改訂概要

歩道の除排雪は地域住民の生活と密接に関連することから、地域住民の要望を反映させるとともに、堆雪場所や除雪機械の保管場所の提供など、住民協力が不可欠となります。多様化する住民ニーズに合致した歩道除雪を行うには、地域住民と行政の適切な役割分担に基づいた連携が重要であり、道路管理者、自治体、ボランティアやNPO等のパートナーシップに基づく歩行者空間の確保を促進し一層の歩道除雪の充実を確保する必要があります。

一方、人口減少、高齢化の進行や短期間の集中的な大雪の発生など降雪様態の変化に対する地域の除雪体制の確保、維持の課題に対して、国・県

等による各種の取組が行われております。道路除雪では整備局に配備された小型除雪車等の貸出しによる自治体支援として取り組まれ、歩道除雪の一層の拡充が図られハンドガイド式除雪機の多用が考えられます。

J C M A 北陸支部では、2003年に雪氷部会にて作成した「歩道除雪機械安全施工マニュアル（ハンドガイド式除雪機編）」において、小型除雪機の構造及び機能変化等から今年度の第1回雪氷部会で改定することが承認されたため、20年ぶりに改訂を行いました。なお、マニュアルは当協会ホームページから取得できます。

歩道除雪機械ハンドブックの見直し

3 豪雪地帯に対する主な支援の取組
(1)豪雪地帯に対する新たな支援策【国土交通省】

■ 豪雪地帯において、高齢者を中心とした除排雪時の死傷事故の多発や生活道路除雪等を行う地域の除排雪体制の弱体化を踏まえ、除排雪時の死傷事故を防止するための体制の整備等

豪雪地帯安全確保
緊急対策交付金の創設
(R3補正予算：1500万円)
(R4当面予算：750万円)

豪雪地帯における除排雪時の死傷事故を防止するための体制の整備等に向け、将来を見据えた戦略的な方針の策定とそのために実施する試行的取組に対する支援を行なう。

○ 地域安全充実方針策定への支援（補助率10/10）

自立的で安全な地域を実現するための将来的構造を踏まえ、除排雪等による地域の安全確保に向けた地域の活性化や各主体の連携を促進する地域安全充実方針の策定に対する支援を行う。

○ 方針策定に向けた試行的取組への支援（補助率1/2）

方針策定に並行して行なう試行的な取組に対して支援を行う。

（概要）

- 多様な主体の連携による除排雪の体制づくり（除雪運営等への連絡管理下り、支援体制のための連絡体制、資源機材の購入等）
- 安全運営会の開催等、除排雪の新しい手の育成
- 充実化や活性化アンケート調査に関する支援
- 除雪に慣れる自動化、省力化に資する技術の導入

豪雪地帯安全確保
緊急対策交付金の創設
(R3補正予算：1500万円)
(R4当面予算：750万円)

豪雪地帯における除排雪時の死傷事故を防止するための体制の整備等に向け、将来を見据えた戦略的な方針の策定とそのために実施する試行的取組に対する支援を行なう。

○ 地域安全充実方針策定への支援（補助率10/10）

自立的で安全な地域を実現するための将来的構造を踏まえ、除排雪等による地域の安全確保に向けた地域の活性化や各主体の連携を促進する地域安全充実方針の策定に対する支援を行う。

○ 方針策定に向けた試行的取組への支援（補助率1/2）

方針策定に並行して行なう試行的な取組に対して支援を行う。

（概要）

- 多様な主体の連携による除排雪の体制づくり（除雪運営等への連絡管理下り、支援体制のための連絡体制、資源機材の購入等）
- 安全運営会の開催等、除排雪の新しい手の育成
- 充実化や活性化アンケート調査に関する支援
- 除雪に慣れる自動化、省力化に資する技術の導入

17

国土交通省が発表した「豪雪地帯に対する主な支援の取組」

配備事務所	当初配備台数	上段：降雪期前	貸出市町村
		下段：12月貸出	
羽越河川国道	2	1	村上市
		0	
新潟国道	7	2	加茂市、三条市
		1	胎内市
長岡国道	8	5	見附市、長岡市、小千谷市、十日町市、津南町
		0	
高田河川国道	3	2	妙高市、上越市
		0	
富山河川国道	9	3	入善町、滑川市、魚津市
		1	高岡市
金沢河川国道	11	5	輪島市、七尾市、志賀町、かくほ市、野々市市
		5	珠洲市2台、金沢市2台、白山市
計	40台	18台	
		7台	

令和4年度の歩道除雪機の貸付の実態

歩道除雪機械安全施工マニュアル [ハンドガイド式除雪機編]

一般社団法人 日本建設機械施工協会 北陸支部

歩道除雪機械安全施工マニュアル [ハンドガイド式除雪機編]

目次

I. 歩道除雪作業と一般知識

1. 通用

2. 歩道除雪体制

3. 作業手順

4. 地域住民・隣接機関との連絡調整

II. 歩道除雪作業を行うにあたって

1. 事前準備

2. 歩行者の事前説明

3. 除雪作業時の注意事項

4. 除雪作業者の注意事項

5. 安全防護装備の使用と保護の加入

6. 作業手順

7. 積み込み、積み下ろし時の注意事項

8. 車速や荷重等

9. 事故発生時の対処

10. 白映・整備

III. 歩道除雪機械の取扱い

1. 外観と各部の名称

2. エンジンの起動と点火

3. 走行手順における機械操作

4. 除雪作業における機械操作

5. シュータやオーバーによる雪詰まき

6. シャーボルトの交換

7. オーバーアプローチやチェーン等の異物が入ったとき

8. 機械的の注意

IV. 安全運営工事効率化

1. 安全教育

2. 歩行者の事前説明

3. 除雪作業の事前説明

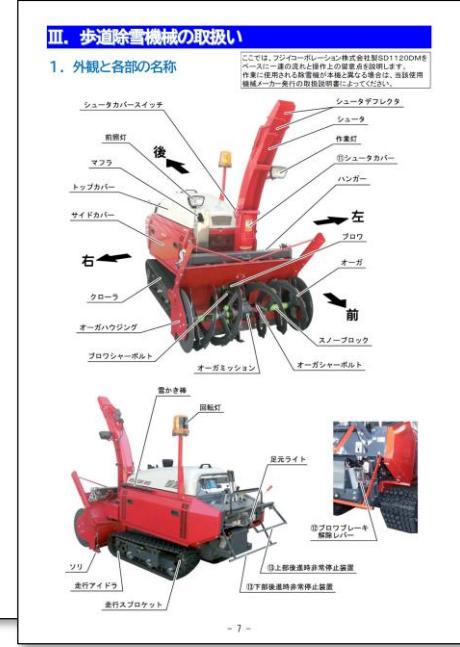
4. 将来の事前説明

V. 安全運営指針

VI. 安全作業の心得

1. 白映の心掛け

2. 作業手順の心掛け



除雪機械オペレータに関する実態調査



実態調査の概要

雪国の道路除雪を支える除雪機械のオペレータにおいて「高齢化対策」や「オペレータ不足」と言った課題が多く聞かれることから、当協会北陸支部において、オペレータ数の経年変化の実態を把握するため、北陸地方整備局、新潟県、富山県、石川県の道路除雪の受注者約120社を対象に平成10年度、平成16年度、平成21年度、平成27年度に実態調査を4回実施しており、今回の調査は7年ぶりに調査を行ったものである。

過去の実態調査は経年変化をより明確とするため、調査対象企業を固定とした調査としており、今年度の実態調査においても基本的には同じ企業とし、除雪作業から撤退した企業や前回の実態調査で回答を得られなかつたものは、調査の対象外としている。

調査の対象外のみでは企業が少なくなることから、当北陸支部で実施している「除雪機械安全施工技術講習会」の過去5カ年の受講者数が多いものから追加した。

実態調査内容および前回調査時の報告内容(一部)

実態調査内容においては、当支部の雪氷部会にて検討した結果、基本的に前回と同様とし、国・県・市町村の2機関以上で実施している企業においては、機関毎に入力できるものとした。なお、新しい調査項目として、除雪作業に従事されているオペレータで下請職員がいる場合において、夏場

職業を確認できる項目を追加した。

実態調査は、除雪作業の繁忙期である1月に依頼することが正しい結果を生み出せることから1月に調査依頼を実施しました。調査結果のとりまとめは、次年度の第1四半期を予定している。

令和4年度 除雪機械オペレータ実態調査表

(一社)日本建設機械施工協会北陸支部

責任者名		
担当者名	部・課名	
TEL	E-Mail	

【設問項目】該項目には□または文字記入をお願いします。

Q1. 今年度の冬期期間(R4.11～R5.6)で、受注されている道路除雪作業の契約内容についてお聞かせ下さい。

(1) 国、県、市町村で注文されている「道路除雪作業(工事)」(施工機と一緒にで契約されている工事も含む)を記載されている契約内容について

- 国、県、市町村の3機種で除雪を実施
- 国、県、市町村の機種で除雪を実施 (□ 国、□ 県、□ 市町村 2つに選択)
- 国、県、市町村の機種で除雪を実施 (□ 国、□ 県、□ 市町村 1つに選択)
- 今度の冬期は雪害に注文していない。

(2) 異なる市町村での発注機種について

県の発注機種(例 ○○県、○○県等)

市町村の発注機種(例 ○○市、○○町等)

□付与

□付与

(3) 除雪作業の契約形態について

- (□ 単価契約、□ 宿泊契約、□ 駐留契約、□ その他())
- (□ 単価契約、□ 宿泊契約、□ 駐留契約、□ その他())
- (□ 単価契約、□ 宿泊契約、□ 駐留契約、□ その他())

Q2.業者所属の除雪事業に從事されているオペレーターについてお聞かせ下さい。

*Q2-Q5の記入にあたっては、Q1(1)の契約における国、「市町村」欄に記入をお願いします。

*複数回答で記入して頂く場合には、二つ以上記入して頂けます。(Q1、Q6、Q7は無記入)

(1) 令和4年度に除雪事業に從事されるオペレーター個人について

直轄職員	下請職員	合計
------	------	----

数値のみを記入

(2) 除雪事業に従事するオペレーター年齢別の個人について

20歳以下	21～30歳	31～40歳
41～50歳	51～60歳	61～70歳
71歳以上		計

数値のみを記入

□付与及び数値のみを記入

(3) オペレーターの年齢別除雪作業の経験年数の人数について

1年未満	1～5年	6～10年
11～15年	16～20年	21～25年
26～30年	31年以上	計

数値のみを記入

□付与及び数値のみを記入

(4) オペレーターの往かいり除雪基地(機械置き場含む)までの通勤時間について

30分未満	31～60分未満	60分以上
-------	----------	-------

数値のみを記入

□付与及び数値のみを記入

□ その他

作業内容

(記入例) 一人乗り除雪車のオペレーターとして確保

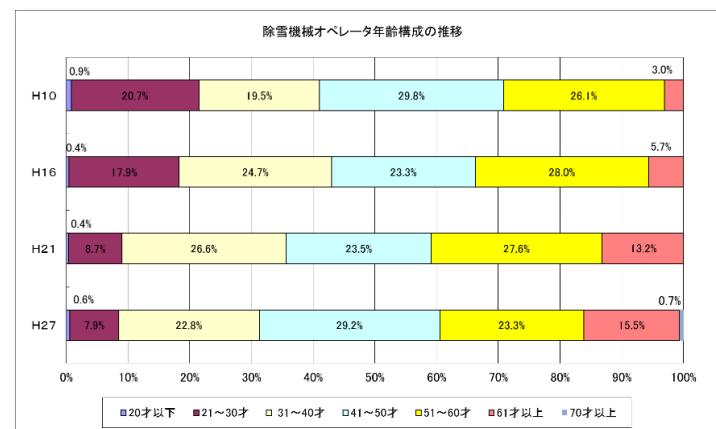
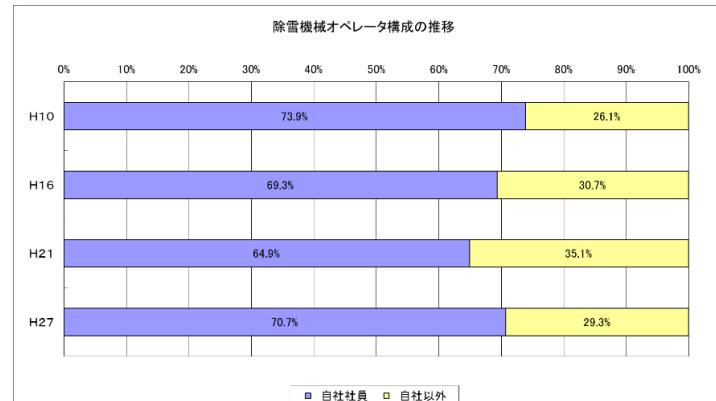
Q6.除雪体制を維持するため、市公庁(国、地方自治体)から支援して頂きたい事項について

(1) 除雪オペレーターを確保するための制度等

(2) 除雪機械を確保するための必要な制度等

Q7.その他(除雪作業全般に関してご意見等があれば記入願います)

お忙しいところ、アンケート調査にご協力ありがとうございました。



令和4年度 除雪機械オペレータ実態調査(様式)

前回調査時のオペレータ構成および年齢構成の推移



外国人技能評価試験

技能評価試験の概要

外国人技能実習制度は、我が国が先進国としての役割を果たしつつ国際社会との調和ある発展を図って行くため、技能・技術または知識の開発途上国等への移転を図り、開発途上国等の経済発展を担う「人づくり」に協力することを目的としています。

平成28年11月28日に交付され、平成29年11月1日に施行された外国人の技能実習の適正な実施および技能実習生の保護に関する法律に基づいて、技能実習制度が実施され、現在全国で約28万人在職していると言われています。

本技能評価試験は、当協会本部が厚生労働省の承認を受け、外国人技能実習生の技能実習評価試験を行っています。

当協会は平成25年までは全国で100～200人の受験者数で推移していましたが、平成26年度から初級で急増し令和元年度においては約4,200人となり、平成29年度の法改正により、「専門級」と「上級」の試験が追加され、受験者数が約5,800人となりました。

よって、各地域において受験機会を増やすため、令和3年度から金沢市で技能評価試験（学科及び実技）を北陸支部にて実施となったものです。

外国人技能評価試験は、東関東及び相模原会場においては毎月の評価試験が実施されており、当北陸支部が受け持つ試験は、当初年4回（5月、8月、11月、3月）でありましたが、令和4年度は1月が追加となり、年5回となりました。

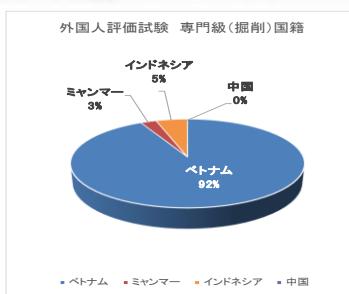
受検者数および受検種別毎の受検者国籍（試験5回開催）

令和4年度外国人技能評価試験 種目別受験者数（掘削・締固め）

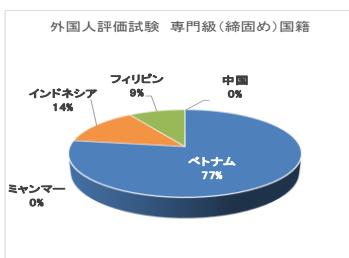
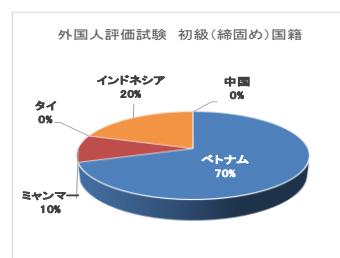
■初級 学科のみ ■初級 実地のみ ■初級 学科+実地 ■専門級 学科のみ
■専門級 実地のみ ■専門級 学科+実地 ■上級 実地のみ



級別	種別	国籍	5月	8月	11月	1月	3月	計
初級	掘削	ベトナム				5	12	10
		ミャンマー						0
		フィリピン				2	3	5
		中国						0
		カンボジア					2	2
	インドネシア				7	11	9	27
初級	締固め	ベトナム				6	8	14
		ミャンマー				2	2	2
		タイ						0
		インドネシア			2	2	4	4
		中国						0
	積込	タイ						0
初級	計		0	0	12	33	36	81



級別	種別	国籍	5月	8月	11月	1月	3月	計
専門級	掘削	ベトナム	12	19	6			37
		ミャンマー	1					1
		インドネシア		2			2	2
		中国						0
		ベトナム	7	7	3			17
	締固め	ミャンマー						0
		インドネシア		2	1			3
		フィリピン	2					2
		中国						0
		ミャンマー						0
専門級	計		22	30	10	0	0	62



* 受検人数は再試験を含む

JCMA親睦ゴルフ大会



日本建設機械施工協会北陸支部会員の親睦を図るため、令和4年9月16日に親睦ゴルフ大会をノーブルウッドゴルフクラブ（新発田市藤塚浜）で開催しました。今年の参加者は昨年より若干少なく、事務局を含めて16人でプレーを楽しみました。競技は秋晴れの中、Wペリア(12H)方式で全てのロングホール・ショートホールでドラコン賞4ホール、ニア

ピン賞4ホールで行われました。優勝者は協会ゴルフで常に上位に入られている日本サミコン㈱の「本田 一郎」様が見事に優勝されました。昨年度の大会はホールインワンが出ましたが、今年は残念ながら出ませんでした。

次回のJCMA親睦ゴルフ大会には、大勢の出席者を期待しています



■ゴルフ大会 成績表

順 位	競技者名	OUT	IN	GROSS	HDCP	NET	受賞
優 勝	本田 一郎	39	39	78	6.0	72.0	NP.8
準優勝	矢尾板 勝仁	41	47	88	14.4	73.6	
3 位	松浦 寛文	51	46	97	21.6	75.4	
4 位	齋藤 浩之	48	49	97	20.4	76.6	
5 位	谷 義弘	44	41	85	8.4	76.6	DK.13



優勝者の本田 一郎さん(右側)



令和4年度 支部行事一覧



総会・運営委員会

令和3年度北陸支部監査

月 日：令和4年4月26日(火)
場 所：北陸支部 事務室
出席者：本間、二宮 支部監査役
議 題：業務監査(支部業務全般にわたる適正
適法性について)
会計監査(貸借対照表、正味財産増減計算書
財産目録の適正、適法性について)

令和4年度部会長会議

月 日：令和5年2月22日(水)
場 所：北陸支部事務室
出席者：堤 事務局長 他3名
議 題：①令和4年度事業計画の立案について
②令和5年度2月からの今後の予定について

令和4年度第1回運営委員会、 北陸支部第11回通常総会

月 日：令和4年5月19日(木)
場 所：新潟東映ホテル
出席者：丸山 北陸支部長 他15名(運営委員)
支部監査1名、事務局5名、その他会員44社
議 題：①令和3年度事業報告及び決算報告について
②令和4年度事業計画及び収支予算について
③令和4～5年度役員変更について
④令和4年度永年会員の表彰について
⑤令和4年度永年役員および
優良建設機械運転員・整備員表彰について

令和4年度第2回運営委員会

月 日：令和5年3月23日(木)
場 所：新潟東映ホテル
出席者：丸山 北陸支部長 他19名
議 題：①令和5年度事業計画及び予算について
②優良建設機械運転員・整備員表彰(案)について
③あかしや通信No.41の発刊について

企画部会関連

外国人技能評価試験委員会

月 日：令和4年4月28日(木)
場 所：北陸支部事務室
出席者：水澤・本間 普及部会委員
議 題：①外国人技能実習制度について
②定期試験の実施状況について
③定期試験開催予定・試験監督の対応について
④受検上の注意事項について
⑤実技試験採点上の留意事項について

第15回北陸道路舗装会議

月 日：令和4年5月31日(火)～6月1日(水)
場 所：ANAクラウンプラザホテル新潟
記念講演：働き方改革を成功させる意識改革と業務改革
発 表：①舗装の長寿命化に関する技術
②舗装の点検・維持修繕に関する技術
③ICT舗装に関する技術
④路面の凍結・積雪対策に関する舗装技術
⑤道路橋保全に関する舗装技術
⑥環境改善、景観保全、交通安全に関する舗装技術
⑦舗装に関する再生利用技術
⑧その他舗装の調査・設計、施工、材料に関する技術
以上68編

第1回企画部会

月 日：令和4年5月11日(水)
場 所：書面表決
議 題：①令和3年度事業報告について
②令和3年度決算報告について

第5回新潟県除雪オペレータ担い手確保協議会 (本部協議会)

月 日：令和4年6月2日(木)
場 所：新潟県庁 201会議室
出席者：穂苅 技師長 他1名
議 題：①令和3年度の除雪対応の振り返り
②令和3年度の担い手確保に関する取組について
③令和4年度の協議会予定について

令和4年度 北陸地方防災エキスパート運営委員会

月 日：令和4年5月30日(月)
場 所：アートホテル新潟駅前 4F越後
出席者：堤 事務局長
議 題：①令和3年度活動報告について
②専門防災エキスパートの選出について
③防災エキスパート活動全般について
④北陸地方整備局における防災対応について



■ 令和4年度 ICT戦略研究会実施会議

月 日：令和4年6月9日(木)
場 所：北陸支部事務室
出席者：堤 事務局長
議 題：①令和4年度ICT活用講習会(入門者クラス)
②令和4年度ICT活用講習会(実践者クラス)

■ 第6回新潟県除雪オペレータ扱い手確保協議会 (本部協議会)

月 日：令和4年9月7日(水)
場 所：自治会館 301号室
出席者：穂苅 技師長 他1名
議 題：①第5回本部協議会の振り返り
②地域協議会における令和3年度の実施内容
③本部協議会の検討状況について

■ ICT活用講習会(実践者クラス)検討会

月 日：令和4年9月15日(木)
場 所：北陸地方整備局 5F会議室
出席者：堤 事務局長
議 題：①講習内容の確認
②会場(盛土)の使用箇所および盛土形成
③会場準備の工程について
④雨天時の場合における対応について
⑤その他調整事項について

■ 第7回新潟県除雪オペレータ扱い手確保協議会 (本部協議会)

月 日：令和4年11月8日(火)
場 所：自治会館 301号室
出席者：穂苅 技師長 他1名
議 題：①第6回本部協議会の振り返り
②今冬に向けた除雪に関する対応について
③令和4年度の扱い手確保の取組および
取組計画について

■ 建設機械施工技能実習評価試験 試験監督研修会

月 日：令和4年11月24日(木)～25日(金)
場 所：施工技術総合研究所(CMI)
出席者：堤 事務局長、本間 普及部会長
議 題：①実技試験(掘削作業(小))の運営方法の確認
②実技試験(掘削作業(小V型、大)、締固め作業
採点実習
③本部からの連絡事項(R4実習評価試験の
実施状況、R5定期試験計画等)について
④支部等提案議題について
⑤積雪期における外国人評価試験について

■ 令和4年度ICT活用講習会(実践者クラス)の開催

月 日：令和4年11月29日(火)～30日(水)
場 所：北陸技術事務所富山出張所
出席者：堤 事務局長
内 容：①2DMGミニバックホウによる操作演習
②3DMCバックホウによる操作演習
参加者：52名

■ ICT活用講習会(入門クラス)の開催 大雪による延期

月 日：令和4年12月20日(火)
場 所：Web講習会(発信:新潟総合テレビ ゆめディア301)
出席者：堤 事務局長
参加者：345人
講義内容：①ICT活用の概要
②ICT活用工事の流れ
③ICTを活用した測量業務等概要
④関係自治体からの情報提供(ICTの取組等)

■ けんせつフェア北陸2023in金沢 幹事会(準備会)

月 日：令和4年12月23日(金)
場 所：雪害非常体制により書面開催
出席者：堤 事務局長
議 題：①実行委員会規約(案)について
②実施計画(案)について
③出展募集要領(案)について
④予算計画(案)について
⑤運営体制(案)について

■ ゆきみらい2023in会津(除雪機械展示・実演会)

月 日：令和5年2月8日(水)～9日(木)
場 所：福島県会津若松市 鶴ヶ城公園東口駐車場
出席者：丸山 支部長 他5名(視察団派遣)
除雪機械出展者:10社
来場者数：1, 600名

■ けんせつフェア北陸2023in金沢 第1回実行委員会

月 日：令和5年2月17日(金)
場 所：北陸地方整備局 4F共用会議室
出席者：実行委員代理 堤事務局長
議 題：①実行委員会規約(案)について
②実施計画(案)について
③出展募集要領(案)について
④予算計画(案)について

■ 広報委員会

月 日：令和5年2月21日(火)
場 所：興和ビル 10F小会議室
出席者：宮村 広報委員長 他6名
議 題：①機関誌「あかしや通信No.41」の掲載記事について
②No.41の編集及び発刊までのスケジュール

■ ICT活用講習会(入門クラス)の開催

月 日：令和5年3月10日(金)
場 所：Web講習会(発信:新潟総合テレビ ゆめディア301)
出席者：堤 事務局長
参加者：543人
講義内容：①ICT活用の概要
②ICT活用工事の流れ
③ICTを活用した測量業務等概要
④関係自治体からの情報提供(ICTの取組等)



■ 第3回企画部会

月 日：令和5年3月16日(木)
 場 所：興和ビル 10F大会議室
 出席者：穂苅 企画部会長 他17名
 議 題：①令和4年度事業報告及び決算報告(見込み)
 について
 ②令和4年度事業計画(案)及び収支予算(案)
 ③優良建設機械運転員・整備員表彰(案)について
 ④機関誌「建設機械施工」の”ずいそう”
 執筆者の選定について
 ⑤あかしや通有No.41の発汗について

普及部会関連

■ ニイガタ除雪の達人選手権 第1回幹事会

月 日：令和4年5月13日(金)
 場 所：新潟県十日町地域振興局 大会議室
 出席者：堤 事務局長
 議 題：①過去の開催状況について
 ②開催場所および日時について
 ③人材の活用について
 ④今後の検討事項について

■ 令和4年度 建設技術報告会 第1回実行委員会

月 日：令和4年6月15日(水)
 場 所：北陸技術事務所 大会議室
 技術報告：樋口 普及部会委員
 ①「建設技術報告会」の実施計画について
 ②「建設技術報告会」の予算(案)について

■ ニイガタ除雪の達人選手権 第1回実行委員会

月 日：令和4年6月24日(金)
 場 所：新潟県十日町地域振興局 大会議室
 出席者：本間 普及部会長
 議 題：①開催場所および日時について
 ②情報発信グループについて
 ③今後のスケジュールについて

■ 令和4年度 第1回普及部会

月 日：令和4年7月12日(火)
 場 所：興和ビル 10F大会議室
 出席者：本間 普及部会長、他8名
 議 題：①除雪機械安全施工技術講習会の計画について
 ②ニイガタ除雪の達人選手権について
 ③建設技術報告会について
 ④現場見学会について
 ⑤親睦行事の実施について

■ 令和4年度 除雪講習会のメーカー講師等打合せ会

月 日：令和4年7月28日(木)
 場 所：北陸支部 事務室
 出席者：堤 事務局長 他メーカー講師4名
 議 題：①除雪機械安全施工技術講習会開催のご案内
 ②令和4年度除雪講習会計画(案)について
 ③令和3年度除雪講習会アンケートとりまとめ
 結果について
 ④令和2～3年度の新潟県・富山県・石川県
 の受講企業数について
 ⑤講習会で使用する手引きについて

■ ニイガタ除雪の達人選手権 第2回幹事会

月 日：令和4年9月6日(火)
 場 所：新潟県十日町地域振興局 大会議室
 出席者：堤 事務局長
 議 題：①開催までのスケジュールについて
 ②競技内容・細則について
 ③当日スケジュールについて
 ④役割分担・費用負担割(案)について

■ JCMA北陸支部 親睦ゴルフ大会

月 日：令和4年9月16日(金)
 場 所：ノーブルウッドゴルフクラブ
 参加者：北陸支部会員 16名

■ 令和4年度 除雪機械管理施工技術講習会

月 日：令和4年10月5日(水)～10月31日(月)
 場 所：魚沼会場、上越会場、新発田会場、富山会場(2回)
 長岡会場、金沢会場、新潟会場(2回)
 受講者数：1,056名

■ ニイガタ除雪の達人選手権(第3回)

月 日：令和4年10月22日(土)
 場 所：ミオンなかさと
 新潟県十日町市宮中己4197
 出席者：堤 事務局長、本間 普及部会長(協議解説者)
 競 技：「スラロームwithタイヤ」、「バック走行クランク」、
 「障害物幅寄せ」、「ギリギリケーキ落とし」
 「車庫入れ」の5競技 全5チーム(1チーム3名)
 一般来場者数：643人(大人366人、子供277人)



■「建設技術報告会」の参画

月 日：令和5年1月18日(水)～31日(火)
 場 所：Webビデオ放映(オンデマンド配信)
 技術報告：1. i-constructionによる生産性向上、
 インフラ分野のDX:8件
 2. 社会資本の的確な維持管理・更新:5件
 3. 雪に強い地域づくり:6件
 4. 自然災害からの安全確保:0件
 5. 環境の保全と創造:3件
 6. その他:2件

■ 令和4年度 建設技術報告会 第2回実行委員会

月 日：令和5年3月8日(水)
 場 所：北陸技術事務所 大会議室
 技術報告：堤 事務局長
 ①「建設技術報告会」の実施報告について
 ②「建設技術報告会」の収支決算報告について
 ③令和5年度の開催について

施工技術部会関連

■ 除雪機械整備技術検討会 打合せ会

月 日：令和4年4月28日(木)
 場 所：北陸地方整備局 5F企画部打合せ室
 出席者：水澤 技術検討委員長 他1名
 議 題：①「除雪機械整備検討会とりまとめ」確認及び回答
 ②機械購入入札説明書の改定について
 ③出張工数に伴う休日・夜間の単価設定について

■ 令和4年度 北陸ICT戦略推進研究会

月 日：令和5年6月28日(火)
 場 所：書面開催
 議 題：①令和4年度北陸ICT戦略推進委員会規約について
 ②令和4年度取組計画について
 ③ICT建設機械認定制度の導入について

■ 除雪機械整備技術検討会 打合せ会②

月 日：令和4年6月29日(水)
 場 所：北陸地方整備局 5F企画部打合せ室
 出席者：水澤 技術検討委員長 他1名
 議 題：①整備技術検討会の緊急時対応について
 ②特殊車両の新たな通行制度の創設について
 ③羽越地区の整備工場について

■ 令和4年度 第4回除雪機械整備技術検討会

月 日：令和4年7月28日(木)
 場 所：興和ビル 10F大会議室
 出席者：水澤 技術検討委員長 他17名
 議 題：①令和2年度整備技術検討会とりまとめ結果について
 ②検討項目の回答および確認事項について
 ③今後の北陸地方整備局への検討要望事項について

■ 第1回新技術活用評価会議

月 日：令和4年8月29日(月)
 場 所：北陸地方整備局 4F災害対策本部長室
 出席者：宮崎 施工技術部会長(新技術評価会議委員)
 議 題：①ボルトナット防錆キヤップ「まもるくん」事後評価
 ②ボルトナット防錆キヤップ「まもるくん」活用促進技術
 ③走行型高速3Dトンネル点検システム 推奨技術
 ④急傾斜法面等に適用できる草刈り技術 テーマ設定

■ 令和4年度 第5回除雪機械整備技術検討会

月 日：令和4年12月14日(水)
 場 所：興和ビル 10F大会議室
 出席者：水澤 技術検討委員長 他14名
 議 題：①除雪機械の回送距離に伴う整備体制について
 ②令和5年度からの自動車修繕単価契約方針
 ・除雪機械の回送距離に伴う整備体制
 ・現地修繕等における出張工数および回送工数
 ・出張工数に伴う夜間時の整備単価
 ③北陸地方整備局から提示された単価契約への要望

■ 第2回新技術活用評価会議

月 日：令和4年12月14日(水)
 場 所：北陸地方整備局 4F共用会議室
 出席者：宮崎 施工技術部会長(新技術評価会議委員)
 議 題：①ぐさびナット、パネクサス 事後評価
 ②活用促進技術の指定(審議)について
 ③推奨技術候補の選定について
 ④テーマ設定型(技術公募)の実施状況について
 急傾斜法面等に適用できる草刈り技術

■ 第3回新技術活用評価会議

月 日：令和5年3月15日(水)
 場 所：北陸地方整備局 4F共用会議室
 出席者：宮崎 施工技術部会長(新技術評価会議委員)
 議 題：①碎石メッシュかご「かご樂」 事後評価
 ②テーマ設定型(技術公募)の実施状況

■ 令和4年度 北陸ICT戦略推進委員会

月 日：令和5年3月22日(水)
 場 所：北陸地方整備局 4F災害対策本部長室
 出席者：樋口 ICT推進委員長
 議 題：①令和4年度ICTの普及・拡大に向けての取組結果
 ②令和5年度取組計画(案)について



雪氷部会関連

令和4年度 第1回雪氷部会

月 日：令和4年9月26日(月)
 場 所：興和ビル 10F大会議室
 出席者：堤 事務局長 雪氷部会委員13名
 議 題：①除雪機械安全施工技術講習会のテキスト改定について
 ②除雪機械オペレータに関する実態調査について
 ③除雪車の運転操作上達かんどうろの改定計画について
 ④歩道除雪機ハンドブックの改定について

令和4年度 施工企画 基本コース研修(国土交通省)

月 日：令和4年11月11日(金)
 場 所：Web研修(新潟⇒東京都小平市)
 出席者：穂苅 技師長講師(維持用機械:除雪機械編)
 受講者：約20名

令和4年度 新潟市車道除雪オペレータ研修

月 日：令和4年11月24日(木)
 場 所：新潟テルサ 大会議室
 出席者：穂苅 技師長を講師派遣
 受講者：81名

その他

令和4年度 外国人技能評価試験(5月期)

月 日：令和4年5月27日(金)
 場 所：CAT北陸教習センター(金沢市)

受検者	掘削	締固め
初級 実地のみ		
初級		
専門級 学科のみ	1名	1名
専門級 実地のみ	12名	8名
専門級	1名	1名
上 級 実地のみ		1名

令和4年度 外国人技能評価試験(8月期)

月 日：令和4年8月25日(木)
 場 所：CAT北陸教習センター(金沢市)

受検者	掘削	締固め
初級 実地のみ		
初級		
専門級 学科のみ		
専門級 実地のみ	10名	2名
専門級	11名	4名
上 級 実地のみ		

令和4年度 建設機械施工技術検定試験(第一次検定)

月 日：令和4年6月19日(日)
 場 所：朱鷺メッセ(新潟コンベンションセンター)
 受検者：1級:245名
 2級:602名 1種:74名 4種:43名
 2種:463名 5種: 6名
 3種: 15名 6種: 1名

令和4年度 建設機械施工技術検定(第二次検定)

月 日：令和4年8月26日(金)～28日(日)
 場 所：石川県小松市 コマツ教習所栗津センタ

受検者	1級	2級
1級 40名	1種: 18名	1種: 24名
2級 162名	2種: 14名	2種: 121名
	3種: 2名	3種: 6名
	4種: 6名	4種: 11名

令和4年度 事務局長会議

月 日：令和4年7月22日(金)
 場 所：Web会議
 議 題：①コンプライアンスについて
 ②情報セキュリティについて
 ③令和3年度収支決算について
 ④建設機械施工管理技術検定について
 ⑤i-Constructionについて
 ⑥外国人評価試験について
 ⑦支部課題について

令和4年度 外国人技能評価試験(11月期)

月 日：令和4年11月11日(金)
 場 所：CAT北陸教習センター(金沢市)

受検者	掘削	締固め
初級 実地のみ		
初級	12名	2名
専門級 学科のみ	3名	1名
専門級 実地のみ	2名	2名
専門級	1名	
上 級 実地のみ		1名



■ JCMA本部事務局長との意見交換会

月 日：令和4年12月15日(木)～16日(金)
 場 所：北陸支部事務室・新潟国道事務所管内の現場
 出席者：丸山 支部長 他3名
 議 題：①令和4年度の事業計画による実施実態について
 ②北陸支部組織および会員の実態について
 ③除雪講習会の現況について
 ④現場見学

■ 令和4年度 2級建設機械施工技術検定(第一次検定)

月 日：令和5年1月15日(日)
 場 所：朱鷺メッセ(新潟コンベンションセンター)
 受検者：2級:103名

1種: 13名	4種: 5名
2種: 79名	5種: 1名
3種: 4名	6種: 1名

■ 令和4年度 外国人技能評価試験(1月期)

月 日：令和5年1月18日(水)
 場 所：CAT北陸教習センター(金沢市)
 受検者：

初級 実地のみ	掘削	締固め
初級	25名	8名
専門級 学科のみ		
専門級 実地のみ		
専門級		
上 級 実地のみ		

■ 令和4年度 外国人技能評価試験(3月期)

月 日：令和5年3月2日(木)
 場 所：CAT北陸教習センター(金沢市)

受検者：	掘削	締固め
	初級 学科のみ	8名
初級 実地のみ		
初級	12名	
専門級 学科のみ		1名
専門級 実地のみ		
専門級		11名

■ 令和4年度 調査業務

北陸地方整備局北陸技術事務所及び東北地方整備局より、
 施工技術総合研究所主務で下記業務を受託。
 穂苅 正昭技師長及び堤 雄生事務局長を担当技術者に配置

業務名：①令和4年度除雪機械の情報化施工技術検討業務
 (北陸技術事務所 R5.3.31まで)
 ②除雪グレーダのICT技術による運転支援に関する
 検討業務(東北技術事務所 R5.3.17まで)
 ③令和4年度急傾斜法面等に適用できる草刈り技術
 評価検討業務(北陸地方整備局 R5.3.17まで)
 ④令和4年度路面消・融雪技術に関する検討業務
 (北陸技術事務所 R5.2.28まで)

お知らせ



新刊技術図書のご案内

販 売 図 書 名	発行年月	非会員 販売価格 税込み(円)	会員 販売価格 税込み(円)	備 考
◆道路除雪施工の手引	R4.10	4,950	3,960	除雪機械技術の向上、安全管理の重要性等の状況を踏まえ、除雪講習会の受講者に対応した構成内容が求められていることからR3全面改訂、R4一部見直し
◆令和4年度版 建設機械等損料表	R4.4	8,800	7,480	国土交通省“建設機械等損料算定表”的内容に準拠 ・機械経費・損料等に関する通達・告示等を掲載 ・燃料・電力消費率を掲載
◆令和4年度版 橋梁架設工事の積算	R4.5	11,000	9,350	別冊 橋梁補修補強工事 積算の手引きをセット
◆情報化施工の基礎 ～i-Constructionの普及に向けて～	R3.1	2,200	1,870	大学や高等専門学校の学生が情報化施工の知識を一通り身につけて社会に出てくれることを目指し、学校教育で活用してもらえるテキスト
◆よくわかる建設機械と損料2022	R4.5	6,600	5,610	R4 建設機械等損料表 解説書
◆令和4年度版 大口径岩盤削孔工法の積算	R4.5	6,600	5,610	
◆令和元年度版 建設機械整備 標準作業工数表(除雪機械編)	R1.7	8,800	6,600	・排出ガス対策規制強化による機械の見直し ・除雪グレーダの機種統合 ・除雪ドーザの生産中止や事業譲渡による見直し

令和5年度の主な行事予定

行 事 予 定	実施年月日	開 催 場 所
●令和5年度 北陸支部通常総会	R5.5.23	東映ホテル
●令和5年度 建設機械施工管理技術検定試験（第一次検定、第二次検定(筆記)）	R5.6.18	朱鷺メッセ(新潟コンベンションセンター)
●令和5年度 建設機械施工管理技術検定試験（第二次検定(実技)）	R5.8下旬	石川県小松市コマツ教習所㈱粟津センタ
●令和5年度 けんせつフェア北陸2023in金沢	R5.10.4～10.5	石川県産業展示館
●令和5年度 建設技術報告会	R6.1	WEBオンデマンド配信
●令和5年度 除雪機械安全施工技術講習会	R5.10上旬～下旬	新潟県5会場・富山県1会場・石川県2会場
●令和5年度 外国人技能評価試験(学科及び実技試験)	R5.5、R5.8、R5.11、 R6.1、R6.3の5回	CAT北陸教習センター(金沢市)



編集後記

新型コロナウイルスの感染確認から3年が経過しました。この間も感染防止に配慮しつつ支部活動を行ってきました。会員の皆様のご協力に御礼申し上げます。

この度、あかしや通信No.41として活動をご報告申し上げます

今年度冬期は、「低温」との長期予報があり警戒していたところですが、残念ながら国道8号及び17号でいわゆる「立ち往生」が発生してしまいました。報道を見るかぎりでは 道路管理者側から「ダブル

タイヤにはダブルチェーンを装着してください」とのアナウンスが少なかったように見えたのは、筆者の気のせいでしょうか。

降雪期初期の降雪には、ドライバー側も意識・装備の面で十分ではないと思いますので、従来に増して広報に知恵を絞る必要があると思います。

今号は、活動報告との意味合いが大きかったため、紙面が大きくなり申し訳ありませんでした。支部活動をより進展するために、会員皆様方の声を事務局にお寄せいただくようお願い申し上げます。

【広報委員長】



JCMA



**一般社団法人
日本建設機械施工協会北陸支部**

〒950-0965 新潟市中央区新光町6-1 興和ビル9F

TEL (025)280-0128

FAX (025)280-0134

E-mail : jcmahoku@beige.ocn.ne.jp

URL <http://jcma-hokuriku.info/>



「あかしや通信」は当協会のホームページからご覧できます。